

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	つどいの広場における子育て中のお母さん・お父さんの居場所支援事業
事業主体 (連絡先)	NPO法人ワーカーズコープ 松本事業所 (松本市城東2-6-17 ハイツリラ101号)
事業区分	⑤子育て支援
事業タイプ	ソフト
総事業費	712,902 円 (うち支援金: 570,000 円)

事業内容

1 子育て中のお母さん・お父さんの居場所事業

ア) お母さんのための癒しの空間 (託児付き)

日頃の子育てで制約を受けている母親に向け、一時的に子どもと離れ楽しみながら日頃のストレスを解消し心身のリフレッシュを図る託児付きの講座を実施。講座講師は専門度の高い外部講師を招いた。託児者は地域の方々に依頼。地域全体で子育て支援ができる、地域交流につなげた。

イ) 子育て支援講演会

子育て世代が抱える課題・悩みを軽減もしくは解消し、子育ての意欲を増進させる講演会を実施。講師は専門性の高い外部講師。託児付きで集中して聞くことができる環境を提供した。

2 伝承体験講座

昨年度の郷土食体験から伝承行事に幅を広げ内容の充実を図った。講師には地域の高齢者を招き、世代の結びつきを深め互いの学びにつなげた。



【癒しの空間・ヨガ】



【子育て支援講演会】



【伝承体験講座】

事業効果

①託児付き講座の開設で、参加者は日頃の子育てから短時間開放され、講座に集中して参加することができた。日頃利用している慣れた場所での託児のため親子とも安心することができた。ひとりで抱え込まず誰かに助けてもらってもいいというきっかけにもなった。

講座終了時には参加者の表情が明るく変わっていた。「集中しながら没頭できた」「ストレス発散ができた」「気持ちが楽になった」など多数の感想が参加者から寄せられた。参加者は自分だけの時間を持てたことで気持ちに余裕が生まれ、その後子どもへの対応が良好になるとともに他者への感謝の気持ちが一段と強く芽生えた。



【託児の様子】

②講師に地域の方や元つどいの広場利用者を活用したことで講師自身が地域貢献の喜びや得意分野の伝承などこれからの生きがいややりがいにつながったと感じた。また、後者は自身の経験をもとに参加者へ声掛けをするなど参加者目線での講座を展開し、より参加者の心に響く講座となった。

託児スタッフも地域の高齢者や先輩お母さんを中心に構成。徐々に関係性も良好になりボランティア部会の立ち上げにつながった。スタッフからは「子どもと遊べてうれしい」「子どもからパワーをもらった」などの前向きな言葉もいただき、自身の生きがいややりがいにもつながったと思われる。地域全体で子育て支援ができる関係ができつつある。

【目標・ねらい】

①託児付き講座の開設。

保護者が子どもから一時的に離れ、集中して取り組める自分の時間を確保することで、日頃の育児ストレスを軽減、心身ともにリフレッシュして子育てに向かう意欲を増進させる。

②地域の人材活用

講師、託児スタッフなど身近な地域の方を活用することにより地域全体で子育て支援ができる関係性を目指す。

※自己評価【 B 】

【理由】

託児付き講座の開設は利用者の心に大きな影響を与え、今後の子育てにおおいに役立つことになった。また、それに関わる方にとっても自身のやりがいとなった。地域全体で温かく見守る子育て支援ができるきっかけになった。

今後の取り組み

2年間、支援金をいただきさまざまな活動をしてきたことで、気づいたこと、見えてきたものがある。特に託児の需要はやはりあり、有料にしてもそれを望む声が多くあることがわかった。今年度、地域との関わりも深まりボランティア部会を立ち上げることができたので、自立して事業を継続していく目途がたった。事業内容は利用者のニーズに合わせ厳選、内容の変更をしながら託児を有料化して事業を継続していく。今まで以上に地域全体で見守りながら子育て支援ができるよう地域への働きかけをおこなっていく。